

企画展「謎の深山焼」

暮らしの十王焼

・江戸から昭和の焼物」

同時開催：梅津五郎通常展 [6]

いつ 3月1日(木)

～4月1日(日)

▼どこで ギャラリー1

▼観覧料 一般 200円

高校生以下 無料

(梅津五郎通常展 [6] と共通)

白鷹町でかつて生産されていた深山焼と十王焼の展覧会。深山焼は江戸時代の短い期間にだけ生産され、現在は発掘調査で見つかった陶片のみが遺されています。(これをヒントにその後復興されています。)

一方、十王焼は江戸時代から昭和27年まで日用雑器中心に作られたもので、以前は「瀬戸山」と呼ばれました。黒色の地肌には掛けられた「流し」は青色や青紫色に発色して美しく、本来は実用のための焼物でありながら多くの人々を魅了してきました。  
本展では、謎に包まれた深

山焼と、暮らしの中に息づいていた十王焼を対比しながらご紹介いたします。



▲切立がめ(十王焼)

関連イベント

講演会

「深山焼と十王焼について」

いつ 3月18日(日)

午後2時～3時

▼講師 高橋 拓 氏

(東洋陶器学会会員)

▼料金 無料。ただし当日の観覧券が必要。申込不要。

陶芸ワークショップ

十王焼風の

ミニすり鉢を作ろう！

いつ 3月24日(土)

午後2時～3時30分

▼講師 金田利之 氏

(深山工房のち団子)

▼参加料 800円

▼対象 小学生以上

十王焼の代名詞ともいえる

すり鉢。その雰囲気似た小型版(直径12cm程度)を制作します。実際にゴマをすったりするのに使えます。

第7回

うたごえ喫茶あゆーむ

いつ 2月26日(日)

午後1時30分より

▼会費 500円

(ワンドリンク付き)

▼申込・問い合わせ

あゆーむ

生演奏を伴奏に、みんなで楽しくうたいましょう。

また、当日はあゆーむバスを運行予定です。ご希望の方はお申し込みください(申込締切2月22日)。

あゆーむ  
白鷹町文化交流センターAYU:M  
TEL. 85-9071 FAX. 85-9072  
E-mail. shirataka@ayu-m.jp  
URL. http://www.ayu-m.jp/

冬季時間になりました

開館時間  
午前9時～午後5時※夜間のご予約がある場合は午後10時まで(ギャラリーを除く)。

3月までの休館日  
2/13(月)・20(月)・27(月)  
3/5(月)・12(月)・19(月)・26(月)

くらしの101

知識

ご注意！高齢者を狙う「利殖商法」

くうまい話には要注意

利殖商法とは、「値上がり確実！」「必ず儲かる！」など、儲かることを強調して投資や出資を勧誘する商法です。出資先の事業内容はバイオテクノロジーやエコロジー、エネルギーなどを連想させるものが多く、契約後に業者との連絡が取れなくなるなどのトラブルが増えています。

事例

業者から突然自宅に電話があり、「A社の株が近々上場する。値上がり確実で価格が2倍、3倍になる。」と勧誘されて株を購入したものの、A社の株が上場せず、勧誘してきた業者とも連絡が取れなくなりました。

アドバイス

未公開株は元本・利益は保証されておらず、リスクを伴う金融商品です。それにも関わらず、「絶対に儲かる」などと勧める勧誘は、きっぱり断り、自分から電話を切りましょう。  
利益が上がる仕組みが分からない話には乗らないことが大切です。

問い合わせ

町民生活センター  
(☎85-6131)

町民課くらし環境係